

坪井年明議員

- (1) 本市における過疎地域（限界集落・準限界集落）の実態について
- (2) **問** 過疎地域の農業や林業の

活性化対策は

答 地域に適した農作物の研究開発を促進し、付加価値をつけた特産品づくりを目指す。混在する小

規模森林の所有者が協働し、効率化・省略化できる方策を進める。

- (3) 交通施策の展開は
- (4) 獣害対策は

会派代表質問

とよ だ みつ はる
豊 田 光 治

にほんきょうさんとうぎいんだん
日本共産党議員団

鈴木 雅彦 豊田 光治
藤本 智子 和田甲子雄

● 議案質疑 ●

議案第15号 津市特別会計条例の一部の改正について

- なぜ高齢者を後期と前期に分ける必要があるのか
- 制度開始に伴う高齢者や関係者の不安にどう応えるのか
- 市として高齢者負担を少なくする措置を求める

議案第48号 平成20年度津市一般会計予算 歳出 教育費 給食センター費 給食センター建設事業について

- 学校給食について
 - 「食育」とは、生産者及び調理する人等と子どもたちが、日常的に会っていることで達成されるのではないか
 - センター化で食材購入が集中化され、「地産地消」がますます遠のき、地域の経済にも疲弊をもたらすのではないか
 - 100%「地産地消」ができる「米」は生産者から直買いせよ
 - 食アレルギーについて他のセンターで対応しているところはあるのか

● 一般質問 ●

- 行革ありきの市政運営の変換を
 - 根拠のない2500人体制ありき

で市民サービスの低下がすすんでいる事務量に見合った見直しを

(2) 総合支所の機能縮小により地域との関わりがますます薄くなる可能性がある

(3) **問** 市民センターの使用料有料化は「元気づくり」に逆行している

答 公平・公正性から受益者負担が原則だが、住民福祉の増進につながる活動には減免等を考慮し、一部ご負担願いたい。公共的団体等は従来同様、全額免除と考える。

(4) 地域振興予算はわずか3年目で低下、しかも地域によって運用基準も明確でない

2 津市勤労青少年ホーム跡地の利用について

- 凶工室、凶書室もない隣接する藤水小学校の土地に確保せよ
- 学童保育「藤っ子」の分割が迫られており、一部をその用地に

3 伊倉津漁協・津市漁協の補助金不正受給について

- 補助事業検査合格証は現場確認して発行されるのではないか
- 領収書の偽造など組織ぐるみで行われており、その責任は問わないのか

津新町駅の階段は、車いすやベビーカーでは昇降出来ない



- 情報開示申請者の個人情報を書き漏らしたことにより、嫌がらせの電話を受けたという当事者の身の安全を守るためにも、市は告発すべきではないのか
- 今回発覚したもの以外の件も調査したのか

4 近鉄津新町駅のバリアフリー化と東口改札の設置を求める

答 県と調整しバリアフリー化に取り組む近鉄への支援方策を検討したい。東口改札の設置は、通路の確保や用地の必要性、費用等を考えると実現は難しいと思われる。

- 駅の階段にスロープもエレベーターもないため、障害者や高齢者、乳幼児を連れた人などは大変困っている
- 市役所へ一番近い駅として、東口改札設置も含めて近鉄とも交渉し整備を急ぐべきである

5 榊原の地元住民が反対している養鶏場建設計画について

- 観光地としてのイメージを損ないかねず、生活環境悪化も懸念される今回の計画に対して、地域住民は反対しているが、当局はどのように対応するのか

